令	和2年	度((20	20年	度)公	共事業	再訂	平価	調書						基準	年月	8	令和2	(様式 2年8月	
	周書番			08-25		管部			建設部			成責任 担当係						記課長 別り29-	影山 カ	
Ι	基本事項(3時点)		·	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·							•	カ打ち						
-	事業種					(社会資本		(日本)	付金) 45	<u>%</u>	道	区名	55%	告	的名 市町村		市町村		函館の他	市
	事業	費	当户包目	·	640 百万円 ミ注に其づき	負 担 割 、健康で文化		120		8 百万円			452		المهداا	ניו	Ē	万円	טועו	百万円
南省	事業目的・目標		舌を含まさい きょう おいかい おいま おいい という という という という という しょう かい こう かい こう かい こう かい いい かい いい	3に足りる伯 所得者に対 道民生活の E目的として がい者、う し続けるこ サルデザィ	主宅を整備し 対して低を強廉な り安定と社会 いうて世帯な ことができる インの導入な	、 健康で文字 、 これを住宅 家賃で賃貸す 会福祉の増進に など誰もが安全 などう住まいに など安全な住ま 毎道住生活基	宅すに 全におい	事	業 概 要	え、ロ	中層耐	火構造	86戸	の道営	住宅を整	整備す		営住宅6棟		
争	美目的 • 日悰	●上記 低い、 建てを	。 上記を達成するため、老朽化が進み、居住水準が い、またはエレベーター等が未設置である住宅を て替え、居住水準の向上を図る。 アウトカム】 等					- 工事費内訳		(ātī	【現況】6棟104戸 銳 【計画】4棟86戸 鉄節 ・建設費 ・測量設計費 ・解体費						変	万円) 更前 1,589 90 147	(百万円) 変更後 2,236 177 227	
		●ユニ (7% ●居住	ニバーサ 6→13% 主水準の	ナルデザイン 6:市内道営	営) 1·3点給湯等	こった住宅の対	兽加	工名	P P P3 ov			件件具		計					147	2,640
			施策	名	北国らしい	個性豊かで活	舌力あ;	る住ま	い・まち	づくりの	推進				合計画:	大項		●生活・安 ●人・地域	JDI	
	合計画での 位置付け	総	合計画:	: 中項目	くりの推進 ●安心で質	子どもを生み の高い医療・ るまちづくり	• 福祉 ⁺	サービ	この強化		総合言	計画:小		●高舗 安心し	者や障!	害のな	できるだめる方が社会の	社会の形成	え Eみ慣れ	
		-201	施策目標		●北国にふさわしい良質な住営住宅の供給などを通じて、 北海道らしさ、活力ある住宅 する。			安全で安心な暮らしや			関連				●ユニバーサルデザインの視点に立った/ 整備戸数が公営住宅管理戸数に占める割約 5.8%(H27)→11%(R7))る割合		
	公共事業評	事業	採択	着手	評価年度	完了予定	42		総事業	費(a)	ĭ	首負担額	頂	当該	年度事業	費	累積	事業費(b)		注:百万円) 率(b)/(a)
事業	事前評価 又は当初		27)15)	H27 (2015)		H34 (2022)	経過年	事	<u> </u>	1,826	┌		913				_			
経	前回評価		H28 (2016)				数	業												
過	今回評価				R2 (2020)	R6 (2024)	5	費		2,640	1	1.	,452		7	14		1,946		74%
	更理由・内容			が 移転に 時	- 詩間を要した	ことによるタ													.1	
	事業採択前		務費・資材費の高騰や消費税増税、敷地内のインフラ敷設替え等による総事業費の増加 況																	
	事業採択に至 経過と背景	₹ る	対象団地は、昭和30年代後半から40年代前半に建設され老朽化が進んでいるほか、エレベーターや給湯設備などの未設置及びバリアフリー 化の対応がされていないなど、入居者の安全の確保や居住水準の向上を図る必要があることから、「道営住宅整備活用方針」に基づき、計画的 に建て替えを行う。																	
	事業検討の手 E民ニーズの把握				明会・意向調明会・意向調															
	事業効果を及 ・対象	えぼす	6棟10)4戸を除却	〕し、4棟86	戸を整備する	රි ං			88		· <u>w</u> == /	7-50				111	· d		- Angelon
4.	関連する事業	#	3	業	名	事業主	. 14	事	業期	間	⊕ :	業費(白万円	ال		事	業	美 内		容
IV	事業の実施	吠況	(1)	事業実績及	び今後の計	画														
			基	(工種)区 本実施設計	t	事 内 4棟86戸	容		H28 H2			3・4期	R3				R7	進捗状況 100%		(百万円) 128
				工事•工事! 解体設計	<u> </u>	4棟86戸 6棟104戸		43.4		^{20戸} ←	2期20 27号标	東 26・3	3期25 33号棟	戸 <	4期24戸 17号棟			75% 45%		2,285 12
			解体工	工事・工事	監理	6棟104戸			49号棟16	43号	棟12戸	27号棟		<-> 33号棟	17号棟1 36戸	<u></u> \$=		50%		215
1.	進捗状況										-								<u> </u>	
. •			(2)	進捗状況											I					
						3棟52戸を除 したことによ						今後σ	実施に	こあた	って支障	きとな	:るもの	はない。		
			b	b: 引	事業計画(期	おり実施してい 間)等を変す 実施に支障を	更し実													

	糸	経済効果の内訳(百						B/C		備	考		
	項	B	R2現在		項 目	R2現在	Ī	R2現在					
		便益	3,0	27	事業費	2	2,574						
				i	維持管理費		613						
											用課)に基	きノさ昇	
											37が書田に	は、 整備	
									期				
2.事業効果)27 i	合計 (C)	3	3,187	(0.95 法	上の耐用な	整時主婦 は、	370年	
			3年度)	·									
			出典の言喋泣に	- トフ書田々		はの水南							
	及史理田	· 刀伤貝 * 貝/	M貝の同應守に	- よる其用の	7月 D/U昇ルオ	一広の以上					し直さ換え	{ () 1	
											への置換え	えと70	
											平型 (本)		
									る	ため、総質		鬂なる。	
	田7 公日	● 項 日		Ħ∇	4.日		ħ	宓		经产品	裁婚 (五五	<u>тш)</u>	
	101		ない。	- 11-1			/ Y	台		稍百岁			
3. コスト縮減	ארמונדגידי	Uノ14日74名	パとは、	し言え注の	同りでなりの様	TJ				-	12UJF	J/ 1 O4	
などの取組													
										-			
V 評 価													
ш													
							全確保や居住が	×準の向上を	図るため	りのもの。			
4 W. T. W.						(いる。	(本元						
1. 必要性	●事業の必	安性に炎10はなく、	、	/推進を図る	の必要がある。		R2現在 2.574 613						
	_	a:事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b:着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。											
	а		の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。										
	(1)環境	上の配慮及び課題											
	て・看上後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。 (1) 環境上の配慮及び課題 ●外断熱工法、断熱サッシ、LED照明を採用し、省エネルギー性能の向上を図っている。 ●団地内に緑地や広場等を整備し、周辺環境に配慮する。 ●工事では、排出ガス対策型かつ低騒音・低振動の建設機械を使用している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。												
	※直近の評価以降の状況変化はない。												
2. 事業を推進する	(2) 事業推進に対する住民の動向												
上での課題					BXIXIPX CI区内 U CV T公。								
	●特になし												
	(3) Fn	他の課題											
	```												
	●団地内に緑地や広場等を整備し、周辺環境に配慮する。 ●工事では、排出ガス対策型かつ低騒音・低振動の建設機械を使用している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。  (2)事業推進に対する住民の動向 ●特になし  (3)その他の課題												
	●団地内に緑地や広場等を整備し、周辺環境に配慮する。 ●工事では、排出ガス対策型かつ低騒音・低振動の建設機械を使用している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。  (2) 事業推進に対する住民の動向 ●特になし												
	現状では事	業進捗に大きな支配	障となるものに	なく、事業	業は順調に進捗し	ていく見込み	りである。						
3. 事業達成の													
見込み		a:現時点では事	業の進捗に影	響する課題	はなく、達成が	見込まれる。						7	
	а	b:課題はあるも	のの達成は可能	能である。									
		c:大きな課題が	あり達成には	相当の困難	が予想される。						整備手では、		
				_								に 財 の	
	事業の必要	性に変化はなく、	令和6年度の完	成を目指し	、事業を継続す	る。							
								は、算出する基準年(R2)現在の価値に置き換えている。 ●現在価値への置換えと7年間の維持管理費を含んてるため、総事業費と異なるを					
4.対処方針	-	a・継続 h・	級了 0.1	休止 る	· m · F		-				価値に置き換えてい 価値への置換えと70 性持管理費を含んでい 総事業費と異なる。 縮減額(百万円) 72百万円/70年		
	a	a · menut D ·	C ⋅ I	rrii U	· тш		,						
	事業期間	 引の変更の有無	有	事業費の	 り変更の有無	有	事業内容変	更の有無					
IT /# -#-	2 212,4315	19/111	٦.	5 212,20	19///	רו	3 3		#	#	無	ŧ	
Ⅵ 備 考													
	項目 R2現在 項 2.574  便益 3.027 事業費 2.574  維持管理費 613												
1. 評価履歴													
2. その他の取組													
事項													
	r .												

加足貝科
------

佣	正資料	역											
VII	事業	計画変	更										(単位:百万円)
		再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定			総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価 又は当初		H27 (2015)	H27 (2015)		R4 (2022)			1,826	913			
事	変更①	)		H28 (2016)	H27 (2015)	R6 (2024)	経		1,826	913			
	変更②	108		H28 (2016)	R2 (2020)	R6 (2024)		事	2,640	1,478	714	1,946	74%
業	変更③	)					過						
*	変更④	)											
	変更⑤	)					年	業					
期	変更⑥	)											
	変更⑦	)					数						
間	変更8	)					-	黄					
	変更⑨	)											
	変更⑪	)					5						
変	· 中理中	内容	変更① 既変更② 労	存入居者の利 務費・資材費	多転に時間を 費の高騰や消	要したことは	こよる 敷地内	完了予 のイン	を定年度の変更 クフラ敷設替え等に	よる総事業費の増	מל		

変更理由・内容

事業概要図

